

宇治市の公共交通の取り組みについて

1. のりあい交通事業の取り組み状況

(1) 明星町：明星町自治会

H27.1～ ギャラリーバスの実施

⇒明星町の子供たちに絵をかいてもらい、
明星レインボウバス車内に掲示。

2～3 レインボウバススタンプラリー

⇒バス降車時にカードにスタンプを押印、
スタンプの多かった上位 50 人にバス
カード（1,000 円）をプレゼント。

3.31 本格運行協定書締結（明星町自治会、京都
京阪バス、宇治市）

4. 1～ 本格運行に移行

（※路線図、ダイヤは「別紙」参照）



ギャラリーバスの状況

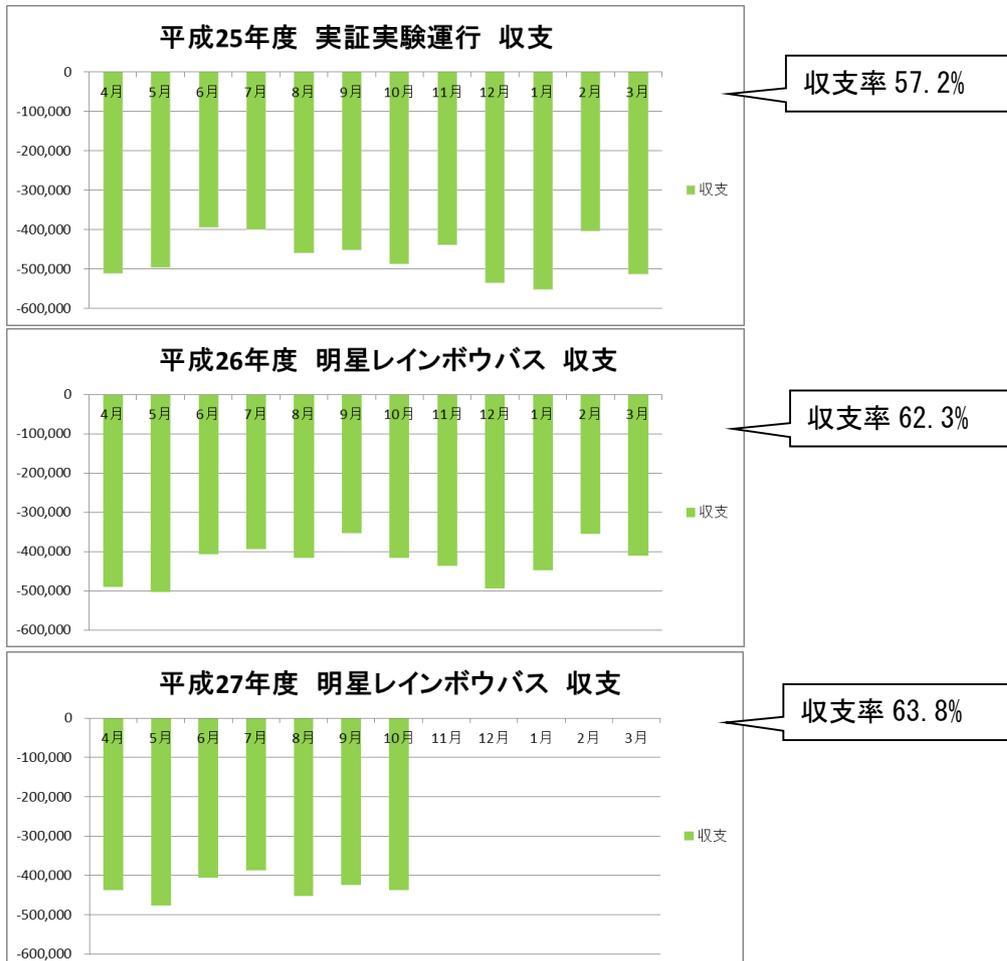


スタンプカード

<収支状況>

現金、磁気カードの月別収支は以下の通り。

（下図は年度比較のため定期・広告収入は含まず。H27.3.1 から IC カードシステム導入）



◎明星レインボウバス収支結果(平成26年度)

運行経費(千円/日) = 運送経費(円/km) × 路線走行距離(km/日) + 適正利潤 + 消費税

※H25 運送経費 411.76(円/km)、路線走行距離 79.3(km/日)、適正利潤 5%、消費税 8%として計算。(ただし、H26, 4~5 は路線走行距離 79.6(km/日))

【運行経費】 約 13,519(千円/年)・・・①

【運賃収入等】(現金、磁気カード、ICカード) 約 8,420(千円/年)

(定期) 約 957(千円/年) (広告収入) 56(千円/年)

計 約 9,433(千円/年)・・・②

【欠損額】 ①-②=4,086(千円/年)・・・③

【収支率】 ②/①≒0.697・・・④

定期、広告収入を含めた収支率は 69.7%

【明星町・宇治市の負担額】

試験運行期間のため、市補助金=③×0.9≒3,677(千円/年)・・・⑤

地元負担額=③-⑤= 409(千円/年)

【参考】本格運行市補助金=③×④≒2,848(千円/年)・・・⑤'

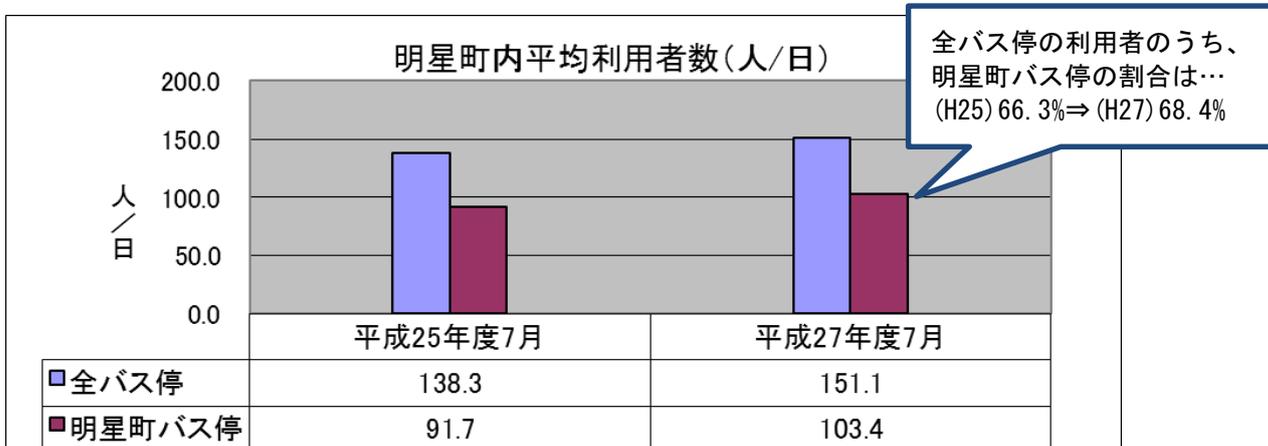
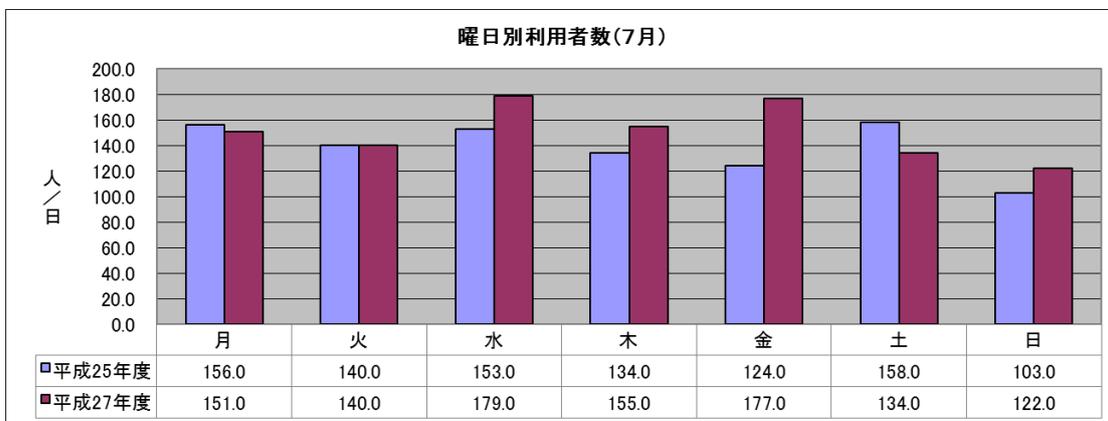
地元負担額=③-⑤' =1,238(千円/年)

⇒860世帯で割ると、1世帯 約120(円/月)

<乗降調査>

・H27 乗降調査の利用者数平均値は 151 人/日 (平日 160 人/日、土日は 128 人/日)

※H25 は 7.1~7.7、H27 は 7.25~7.31 に調査



(2) 西小倉：西小倉地域バス問題検討委員会

地域住民を対象にのりあい交通計画(素案)の説明会を実施。(説明会は西小倉地域バス問題検討委員会の地域住民と協働で実施。)

H27. 2. 22 井上先生の講演&のりあい交通計画(素案)
の説明会

3. 1 //
3. 8 //

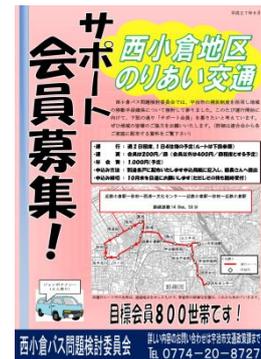
5 月 のりあい交通計画(素案)アンケート

7~9 月 西小倉地域バス問題検討委にて協議
⇒アンケート結果を踏まえ、今後の進め方を検討

9 末~ 「西小倉地区のりあい交通サポート会員」の募集
⇒現在、週 2 回程度の運行頻度の計画で会員を募集中
であり、概ね 800 世帯以上の会員が集まれば、事業者
を募集する予定。運賃は、会員 200 円/回、その他の
一般客は高く設定する予定。【資料 2 - 1 参照】



H27. 2. 22 説明会の様子



H27. 10 会員募集ポスター

(3) 槇島町：槇島まちづくりを考える会

各町内会へのりあい交通計画(素案)の説明会を実施。(説明会は槇島まちづくりを考える会、槇島地区コミュニティ推進協議会と協働で実施。)【資料 3 - 1 参照】

H26. 7. 13 全町内会長を対象に説明会を開催

9~H27. 6 同様の説明会を計画路線沿いの町内会を対象に計 8 回実施。(13 町内会で実施。)

H27. 9. 24 協力の意向を持つ 9 町内会(約 1300 世帯)が集まり、
運行計画や町内会毎の費用負担について協議

10. 22 //

11. 20 運行計画や費用負担について、住民意見を集約
するため、9 町内会でアンケート調査を行うこと
を協議

⇒今後、調査結果を踏まえて、運行計画の絞り込みを
行い、町内会毎の費用負担についても協議を進める予定。

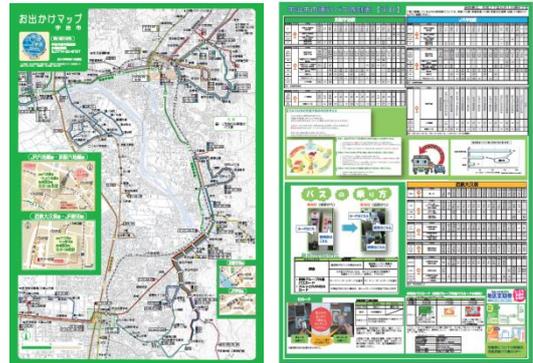


H27. 9. 24 協議状況

2. 公共交通の利用促進に関する取組

(1) お出かけマップを更新：平成 27 年 6 月 1 日作成

⇒バス事業者が実施する路線変更に伴い、マップを更新するとともに、マップ裏面に主要駅のダイヤやバスの乗り方等の情報を記載。



(表面)

(裏面)

(2) 宇治橋通り「わんさかフェスタ」での啓発

⇒公共交通利用促進のため、子供たちに鉄道やバスの塗り絵（裏面に「かしこい車の使い方」を記載）をしてもらい、ラミネート加工して記念に持って帰ってもらうなどの取り組みを行った。また、お出かけマップの配布も行った。



H27. 10. 24 わんさかフェスタ

(3) 市内小学校での交通学習の実施

⇒三室戸小学校、京都京阪バス㈱の協力のもと、2年生 83 人を対象に、バスを題材にした交通学習（地域を走っているバスの紹介や環境問題、バリアフリーについての学習）を実施。（11/25 1～2 時限目に実施、バス車両を 2 台使用）

H27. 11. 25 交通学習当日資料より(抜粋)